

令和4年度（2022年度）学術研究助成【特別枠】のご案内

本県の強みである先端科学技術基盤を活用した研究取組を促進するため、同基盤を活用したイノベーション創出が強く期待できる研究に対して、特別に支援する枠を設けて研究資金を助成します。皆様からの積極的な応募を期待します。

なお、今年度も喫緊の世界的な課題である新型コロナウイルス感染症対策やポストコロナ社会の実現を見据えた研究にも焦点をあてて募集します。

1 助成の概要

	通常枠	特別枠
対象者	県内に在勤または在住する研究者・技術者	
対象研究	自然科学分野に属する意欲的な研究	県内の先端科学技術基盤(※)を活用し、イノベーション創出が強く期待できる研究
助成額	100万円以内/件 (原則1年間)	100万円以内/件・年 (最大3年間継続可)
助成件数	33件	3～4件程度(予定)

- ※① 大型放射光施設「SPring-8」 ② X線自由電子レーザー施設「SACLA」
③ ニュースバル放射光施設 ④ 県放射光研究センター(分析装置)
⑤ スーパーコンピュータ「富岳」 ⑥ (公財)計算科学振興財団「FOCUS スパコン」
⑦ 金属新素材研究センター(金属用3Dプリンタ等)

2 募集の要領

(1) 対象研究

「県内の先端科学技術基盤を活用し、イノベーション創出が強く期待できる研究」とします。(上記の先端科学技術基盤を1つ以上活用するものに限りです。)

なお、県の施策と歩調を合わせて戦略的に基盤研究を支援するため、次の研究については加点評価(項目該当ごとに評点を加算)します。

- ① 県ビームラインを利用する研究
- ② 産学連携研究(産業応用のイメージが明確な研究)
- ③ 上記基盤のうち、2つ以上を連携利用する研究
- ④ マテリアルズ・インフォマティクスの推進に資する研究
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症対策もしくは、ポストコロナ社会の実現に資する研究

(2) 募集期間 2021年9月1日(水)～12月17日(金) ※注：通常枠と期限が異なります。

(3) 応募方法

「特別枠」の申請書により申請してください(「通常枠」と様式が異なりますのでご注意ください)。

(4) その他の留意事項

- ① 同一テーマによる通常枠と特別枠の同時申請は認められません。
- ② 2023年度以降の「継続」の可否については、年度ごとに研究計画の進捗状況进行评估し、決定します。
- ③ 計画の進捗状況により、1年に限り延長を認めます。また、各基盤における課題審査不採択等により計画どおり基盤利用ができなかった場合は、当該基盤の利用を翌年度以降とする計画変更を認めます。
- ④ 審査を踏まえた結果の通知は、2022年3月初旬頃を予定しています。